



われらの森山校

志布志市立森山小学校だより NO.4 令和7年7月18日発行
学校ホームページ <https://424.ciao.jp/moriyama-els/>



七夕集会(7月2日)

心、満足。夏休み！

校長 古石美紀

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。今年度はいつもより少し長い44日間。1学期の終業式では、子どもたちに「どんな夏にするかは自分次第。小さな事にも楽しみを見つけて、面白かったと心が満足する夏休みにしてほしい」と話そうと思っています。

さて。夏休み、皆さんにはどんな思い出がありますか？私の両親は天文館で飲み屋をしていたので、夏、家族揃って休めるのはお盆のみ。お盆は祖父母に会いに行き、ご先祖様のお墓参りをするのが常でしたので「どこかへ家族旅行」なんて贅沢はできませんでした。でも、土日にご近所さんと一緒に海水浴に行ったり（ちゃんぽ餅が楽しみでした。）、子ども会のみennaと一泊旅行に行ったり、小さな楽しみもたくさんあったように思います。今考えると、両親や周りの大人達が、子どもたちになんとか夏休みらしさを味わわせようとしてくれていたのではないかと、懐かしい思いと感謝の気持ちでいっぱいになります。また、友達と学校や公園で遊んだり（当時は校庭に自由に入れました。）、プールで思いっきり泳いだり（天文館公園の25mプールの水は冷たくて最高でした。）して、真っ黒に日焼けしたのもいい思い出です。

学習で一番記憶に残っているのは「自由研究」。初めて取り組んだのは小学校1年生の時です。父が、知り合いからスズムシをいただきたので、その様子を観察日記にまとめました。オスとメスの違いを調べたり羽をこすって音色を出す様子を観察したり、自分なりに一生懸命取り組んだように思います。今のように、

インターネットで調べたらすぐに答えが見つかる時代ではなかったので、内容は拙い物だったと思いますが、やり遂げた満足感はいっぱいで、意気揚々と夏休み明けに提出したのを覚えています。（ちなみに、2年生の夏休みは、お隣のビル建設の様子を観察しました。社会科自由研究です。題材選びが渋くて笑えます。）

長い夏休み。子どもたちには、遊びでも勉強でも運動でも家の手伝いでも何でもいので、やってみたいこと、挑戦したいこと、できるようになりたいこと等に思いっきり取り組んでほしいです。思いっきり取り組めば、成果が出なかったとしても、やってみてよかった、やってみて面白かったと思えるのではないのでしょうか。夏休み明け、こんなことがあったよと、ニコニコ笑顔で話してくれることを楽しみにしたいと思います。

実は…、小学校1年生の夏休みの自由研究について思い出したのは訳があります。志布志壮年大学の講座の際にある方から「校長先生、スズムシはいらんね？」とのお話があり、「スズムシの赤ちゃん」をいただいたのです。今、校長室の真ん中には、虫籠がでんと置いてあります。「スズムシの赤ちゃん見に来てね」というポスターを目にした子どもたちが休み時間に見に来ます。たくさん育てているので、「うちで観察したい人には差し上げます」のポスターも貼ったのですが、何人もらいに来るかしら。6月8日の朝に生まれたという赤ちゃんたち。日に日に大きくなっており、早ければ7月下旬に初鳴きを聞くことができるかもしれません。ほぼ半世紀ぶりのスズムシの飼育を楽しんでいる校長です。

